

大会における「撮影(写真・動画等)制限」について (検印)

競技者が安心して協議に集中できる環境づくりと、競技者の人権保護の観点から、競技場エリアでの巡回・警備を強化し、撮影が可能な人・撮影制限等を設けました。保護者の皆様、大会関係者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

* 競技会中に下記に該当するか確認する場合があります。ご協力ください。

- (1) 大会運営本部より許可された報道関係者・調査研究者・事務局等(要申請)・ビブス、審判証等着用
- (2) 大会出場の学校、実業団、チームの関係者、保護者、家族等・・・TICへ申し出る

* 撮影方法等・・・禁止区域が設けられている場合はそれに従ってください。

- (1) 上記(1)に該当する人が撮影する場合の詳細は、大会本部(報道係)にて確認してください。
- (2) 上記(2)に該当する人の撮影は、観客席(スタンド)からすることとし、次の撮影制限等を遵守願います。

①トラック種目のスタート時、準備動作中・・・前方、後方は撮影不可

②走高跳・・・正面(クリアランス動作)からの撮影は不可

③砲丸投・・・競技者正面からの撮影は不可

④棒高跳、走幅跳、三段跳・・・マット及び砂場後方は撮影不可

(3)フラッシュ撮影や赤外線撮影装置での撮影、及びドローン撮影は禁止

(4)スタート時は静寂を保つためシャッター音が鳴らぬようご注意ください。

(5)三脚や自撮り棒を使用しての撮影は、他の観客の迷惑になる場合があるのでご遠慮ください。

(6)競技と無関係の目的で撮影、身体の一部をアップした撮影、透過撮影、その他の迷惑行為はおやめください。

(7)競技場内で撮影した全ての画像・動画は、大会運営本部に確認させていただく場合があります。

(8)撮影した画像・動画の販売及び営利目的の利用は禁止します。(無断アップロードもおやめください。)

アスリートの盗撮、写真・動画の悪用、悪質なSNS投稿は卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで楽しむものです。そのために安全にスポーツを楽しむ環境を確保する必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真、動画を悪用した目的のSNS投稿やWEB投稿は、アスリート、特に若くはアスリート、家族、関係者などに対する被害をもたらす可能性があります。すべてのアスリートの権利を尊重し、スポーツをより楽しむための環境を守るために、スポーツ界全体でこの問題に取り組んでいます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。アスリートを通じて目的のSNS投稿やWEB投稿を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。今後の対応に際しては、悪質な事例については盗撮への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>

・盗撮は違反禁止事項として処罰される可能性があります。
・SNS等で本人の画像をアップする書き込みは盗撮(悪質投稿)として処罰される可能性があります。
・盗撮による投稿であっても、法的権利により、投稿者が特定され、匿名化措置の対応になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本体育協会 公益財団法人 日本学生体育協会 公益財団法人 日本学生体育協会 公益財団法人 日本学生体育協会 公益財団法人 日本学生体育協会 公益財団法人 日本学生体育協会 公益財団法人 日本学生体育協会